

2023年11月 東京地区百貨店売上高概況

2023年12月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1,519億円余
2. 前年同月比(増減率)	9.7%(27か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭9.2%(90.2%)：非店頭14.6%(9.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	744,130㎡ (前年同月比：-1.8%)
6. 総従業員数	13,709人 (前年同月比：-6.7%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 9.8%、5-7月 10.1%、6-8月 10.8%、 7-9月 9.6%、8-10月 8.1%、9-11月 8.1%

[参考] 2022年11月の売上高増減率は7.8%

【特徴】

- (1) 11月の東京地区は、売上高9.7%増(27か月連続)、入店客数11.9%増(11か月連続)と、共に前年実績を上回った。中旬以降の気温低下に伴い、冬物重衣料が活発に動いたことや、高付加価値商材、免税売上の増勢が全体を牽引した。2019年比では6.8%増、2018年比でも1.8%増と、2か月連続でコロナ前の水準を上回った。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち、家庭用品を除く4品目がプラスとなった。主力の衣料品(12.5%増/26か月連続)は、防寒商材が稼働し、コート等アウターの他、手袋、マフラー、帽子も伸長した。ニットやジャケット、ブルゾンは引き続き堅調に推移した。
- (3) 身のまわり品(16.2%増/27か月連続)は、ラグジュアリーブランドがインバウンド需要もあって好調を維持し、前月同様、2018年比でも二桁増(22.7%増)と高伸した。また、クリスマス前のギフト需要が加わり、国内アクセサリブランドも好調だった。雑貨(11.1%増/27か月連続)は、化粧品ではスキンケア商材が伸長した他、フレグランスもギフト需要を背景に好調に推移した。
- (4) 食料品(3.3%増)は、4か月ぶりにプラス転換し、特に菓子は和洋菓子共に好調だった。年末年始にかけて人が集まる機会の増加が見込まれているが、これを背景に、大容量のオードブルや、クリスマスケーキ、おせちの複数個予約等の購買傾向が見られた。
- (5) 12月中間段階の商況は、前年比10.5%増(12/17時点)、2019年比では12.6%増と、引き続き好調に推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した：18店、②変化なし：0店、③減少した：0店
- (3) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した：6店、②変化なし：5店、③減少した：2店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	151,948,480	100.0	9.7
紳士服・洋品	11,336,799	7.5	12.1
婦人服・洋品	23,618,519	15.5	12.9
子供服・洋品	1,913,187	1.3	8.7
その他衣料品	1,740,955	1.1	13.2
衣 料 品	38,609,460	25.4	12.5
身のまわり品	24,987,623	16.4	16.2
化粧品	12,180,080	8.0	18.0
美術・宝飾・貴金属	15,638,918	10.3	6.1
その他雑貨	5,309,233	3.5	11.6
雑 貨	33,128,231	21.8	11.1
家 具	1,589,459	1.0	21.8
家 電	1,683,611	1.1	-14.0
その他家庭用品	3,036,796	2.0	-0.6
家 庭 用 品	6,309,866	4.2	-0.1
生 鮮 食 品	5,372,985	3.5	3.8
菓 子	12,375,937	8.1	8.4
惣 菜	8,246,583	5.4	1.8
その他食料品	14,906,365	9.8	0.0
食 料 品	40,901,870	26.9	3.3
食 堂 喫 茶	2,384,004	1.6	13.8
サ ー ビ ス	2,046,602	1.3	3.7
そ の 他	3,580,824	2.4	22.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,820,893 千円	-6.9
従 業 員 数	13,709 人	-6.7
店 舗 面 積	744,130 m ²	-1.8

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は家庭用品を除く4品目でプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、紳士服・洋品が25か月連続、婦人服・洋品が27か月連続でプラスとなったほか、惣菜が4か月ぶりにプラスとなった一方、家電が2か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	9.7	—	27か月連続プラス
紳士服・洋品	12.1	0.9	25か月連続プラス
婦人服・洋品	12.9	2.0	27か月連続プラス
子供服・洋品	8.7	0.1	17か月連続プラス
その他衣料品	13.2	0.1	7か月ぶりプラス
衣料品	12.5	3.1	26か月連続プラス
身のまわり品	16.2	2.5	27か月連続プラス
化粧品	18.0	1.3	27か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	6.1	0.7	6か月連続プラス*
その他雑貨	11.6	0.4	21か月連続プラス*
雑貨	11.1	2.4	27か月連続プラス
家具	21.8	0.2	2か月連続プラス
家電	-14.0	-0.2	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-0.6	-0.0	5か月ぶりマイナス
家庭用品	-0.1	-0.0	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	3.8	0.1	2か月連続プラス*
菓子	8.4	0.7	2か月連続プラス*
惣菜	1.8	0.1	4か月ぶりプラス*
その他食料品	0.0	-0.0	9か月連続マイナス*
食料品	3.3	0.9	4か月ぶりプラス
食堂喫茶	13.8	0.2	21か月連続プラス
サービス	3.7	0.1	2か月ぶりプラス
その他	22.9	0.5	10か月連続プラス
商品券	-6.9	-0.2	9か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>